



ニュースレター「KAWASAKI Coastal Area News」Vol.27 を発行



みんなで考えるSDGs part2  
世界最高水準の研究開発で  
“すべての人に健康と福祉”を

川崎臨海部における本市の取組、臨海部立地企業、まちの魅力など、多方面からの情報を発信することを目的としたニュースレター「KAWASAKI Coastal Area News」Vol.27を1月5日(水)に発行します。

川崎臨海部は、京浜工業地帯の中心に位置し、鉄鋼・石油化学等の工場やエネルギー・物流等の施設が集積するとともに、近年ではライフサイエンス分野における世界最高水準の研究開発が進められているエリアです。

川崎臨海部は、川崎市の「力強い産業都市づくり」の中心としてさまざまな産業分野における技術や人材の相互連携を進めながら新たなイノベーションを生み出し、先端技術によって地球規模の課題を解決する新しい価値の創出を先導する重要な役割を担っています。

### ◆市民に身近な「SDGsの取組」を特集

「みんなで考えるSDGs」と題して、vol.26、27の2号に渡って川崎臨海部の「SDGsの取組」を紹介しています。今号は、SDGs 3番目の目標「すべての人に健康と福祉を」に関する紹介をします。

### ◆臨海部に立地する大学・企業の取組をインタビュー取材

慶應義塾大学医学部で取り組む、病気を経験した人も“自分らしく”暮らせる社会づくりの実現に向けた「都市型コモンヘルズ共創拠点」プロジェクトや、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社がキングススカイフロントで行っている医療従事者に対して実践的なトレーニングを提供する取組について紹介します。

#### 【取材先】※掲載順

- ・慶應義塾大学医学部教授（整形外科学）中村 雅也氏
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー  
ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート 施設長 田村 美奈子氏



## 1 発行日

令和4年1月5日（水）

## 2 リリース方法

(1) 市ホームページへの掲載

(2) SNS での発信

- ・川崎市臨海部国際戦略本部 twitter
- ・川崎市臨海部国際戦略本部 facebook
- ・川崎市臨海部国際戦略本部 Instagram



(3) 区役所、市民館、図書館等での配布

(4) そのほか、マスメディア等への情報提供を行い、各メディアへの記事掲載を図ります。

## 3 ニュースレターVol. 27 記事内容（全4ページ）

《テーマ》

みんなで考える SDGs part2 「世界最高水準の研究開発で“すべての人に健康と福祉”を」

### 川崎臨海部から生まれる、医療のミライ

#### ◆病気を経験しても“自分らしく”暮らせる社会に

～「都市型ヘルスコモンズ共創拠点」プロジェクト始動～

- ・今ある「不安」を「安心」に変える
- ・私たちの暮らしはどう変わる？
- ・中村先生にとって SDGs とは

#### ◆高度な医療を安全に届けるために、日本・アジア各国の医師にトレーニングを提供

- ・製品の製造のみならず使い方を伝える大切さを体現化
- ・「羽田空港との近さ」「先端医療の集積地」という利点を大いに利用
- ・全社員で推進するダイバーシティの活動
- ・J&Jにとって SDGs とは

川崎臨海部は「産業（ものづくり）が高度に発展し、新しい価値を生み出し続けるエリア」として、また、「自然環境や暮らし、学びの機会が充足し、市民や就業者が期待し誇りに思うエリア」として、今後も持続的に発展し、豊かな市民生活を支え日本経済をけん引していきます。

川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 担当：堤

電 話 044-200-3738

FAX 044-200-3540

Mail 59jigyo@city.kawasaki.jp